

第15回宇治市交通 バリアフリー検討委員会

令和6年2月1日(木)

宇治市都市整備部交通政策課

本日の内容

(1)基本構想策定の経過

(2)進捗状況

- ①全体の進捗状況
- ②京都文教大学との連携事業の報告
- ③令和4年度以降に実施した事業
- ④心のバリアフリーの実施状況

(3)その他

(1)基本構想策定の経過

①宇治市の全体構想

構想時期：H17.7策定、H27.3改定

目的：いわゆる「交通バリアフリー法」(H12)に基づき計画的にバリアフリー(以下「BF」と表記)を進めるため策定

内容：1)市内のBF化を推進するため、市全体の交通BFに関する「基本理念」、「基本方針」を定める
2)市内14駅を中心とした地区から「重点整備地区」を抽出

①宇治市の全体構想

◆基本理念

すべての人が安心して出かけられる、
やさしさにあふれたまち・宇治

◆基本方針

- ◎ すべての人が安全に安心して移動できるまちづくりを推進します。
- ◎ 交通利便性の向上を図り、だれもが快適に過ごせるまちづくりを推進します。
- ◎ やすらぎと思いやりにあふれた支え合いのまちづくりを推進します。

②宇治市の基本構想

基本構想	策定時期	周辺駅	目標年次
大久保駅周辺	H18.11	JR新田 近鉄大久保	H22
宇治駅周辺	H19.3	JR宇治 京阪宇治 京阪三室戸	H22
木幡駅周辺	H28.3	JR木幡 京阪木幡	H32(R2)
黄檗駅周辺	H29.3	JR黄檗 京阪黄檗	H32(R2)
伊勢田駅周辺	H30.3	近鉄伊勢田	H32(R2)

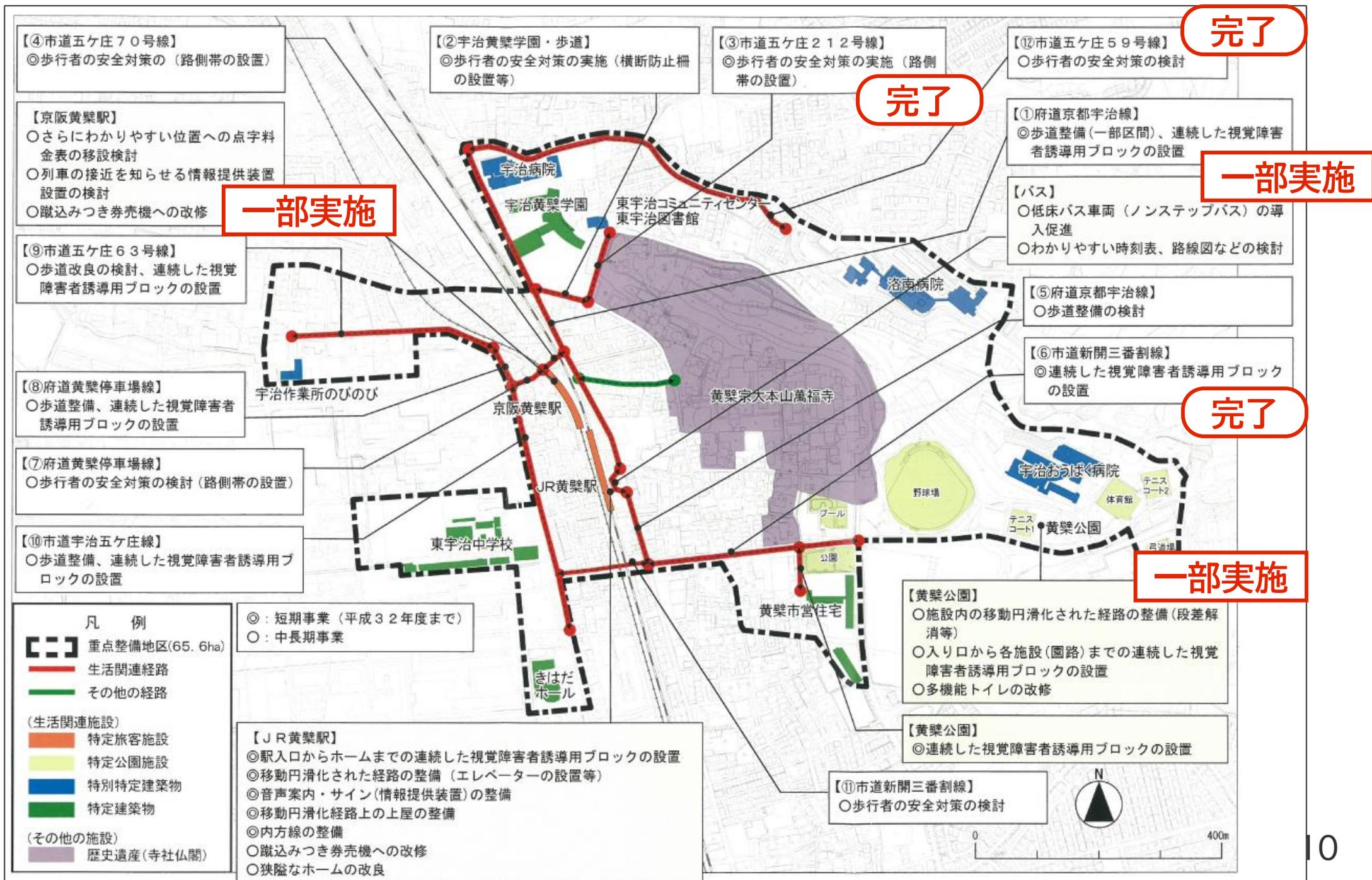
(2)進捗状況

①全体の進捗状況

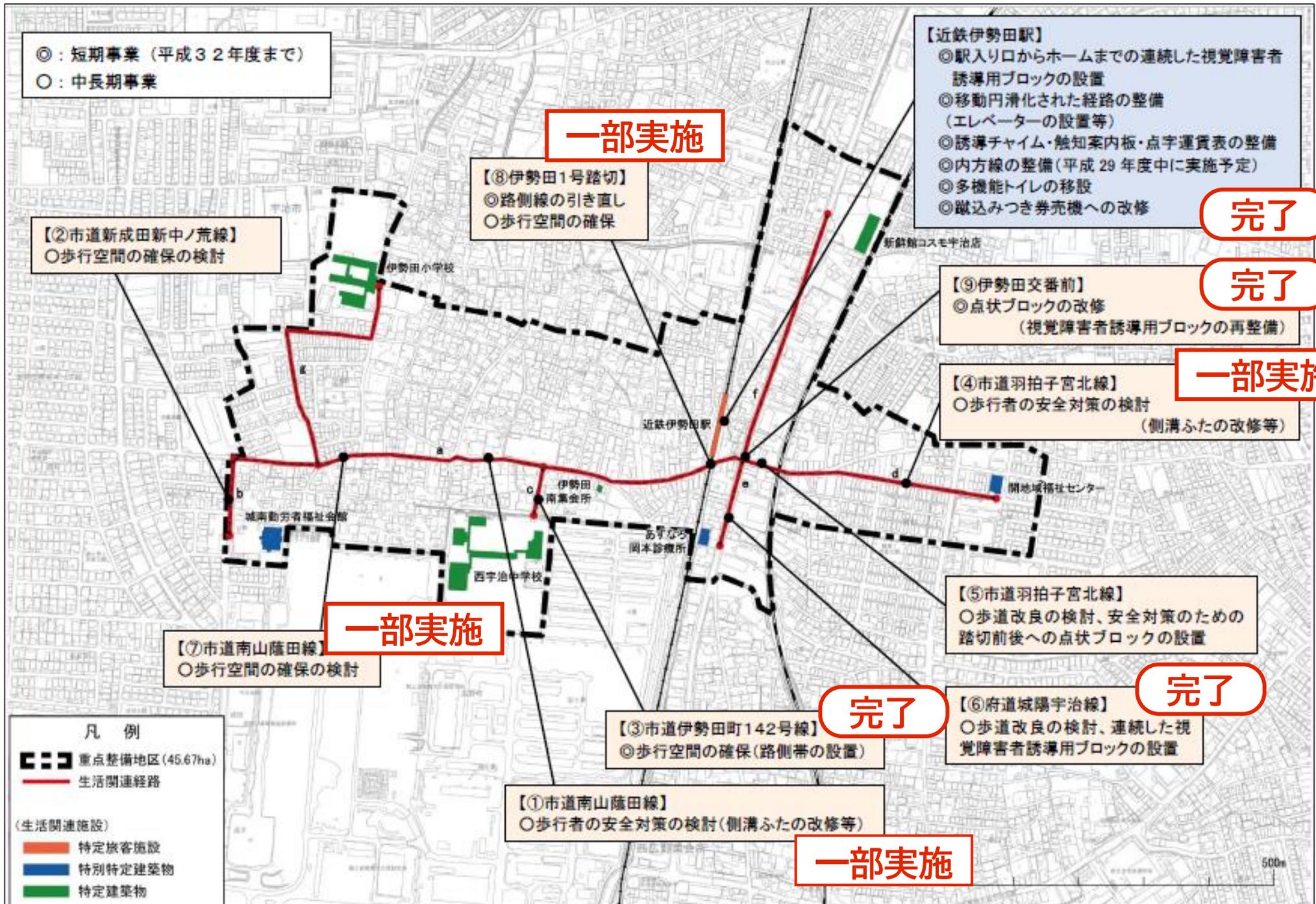
①全体の進捗状況(木幡駅周辺地区)



①全体の進捗状況(黄檗駅周辺地区)



①全体の進捗状況(伊勢田駅周辺地区)



②京都文教大学との連携事業の報告

②京都文教大学との連携事業の報告

◆京都文教大学と連携した心のBF推進事業

目的：学生自らの体験に基づく心のBF推進手法の検討

連携：京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科1年生25名
(担当教員：准教授 松田 美枝 様、講師 二本柳 覚 様)

内容：①事前学習、②体験学習、③まとめ、④周知検討の
計4回の授業を実施

成果：大学主催イベント「ともいきフェスティバル」にて
学生企画の出店を行い、地域住民等の参加者に対し
心のBFを推進

協力：近畿運輸局京都運輸支局

②京都文教大学との連携事業の報告

◆授業1回目 事前学習(R5.10.19)

- ・心のバリアフリーの推進について(京都運輸支局)
- ・地方自治体でのバリアフリー化事業について(宇治市)
- ・体験学習の班分け、ルート設定(学生)
- ・車いす、ブラインド体験や介助における注意点(宇治市)



【京都運輸支局の説明】

②京都文教大学との連携事業の報告

◆授業2回目 体験学習(R5.10.26)

- ・車いす、ブラインド体験とその介助
- ・4班に分かれ授業1回目で設定した学内のルートで実施



【車いす体験】



【ブラインド体験】

②京都文教大学との連携事業の報告

◆授業3回目 まとめ(R5.11.2)

- ・体験学習で感じたこと等をまとめて班ごとに発表

【主な意見】

(車いす)

- ・買い物で高い位置のものが取りにくい
- ・低い段差でも苦勞した

(ブラインド体験)

- ・点字ブロックを見失うと不安
- ・自動販売機で欲しいものが買えない
- ・厚底の靴では点字ブロックがわからない

②京都文教大学との連携事業の報告

◆授業3回目 まとめ(R5.11.2)



②京都文教大学との連携事業の報告

◆4回目授業 周知検討(R5.11.16)

- ・「ともいきフェスティバル」出店に向けた検討



②京都文教大学との連携事業の報告

◆成果「ともいきフェスティバル」出店(R5.12.10)

・ 学生が検討した企画を実施

①車いすや目隠しをして学内を移動してみよう。

目隠しをしたまま箱の中身がなにか当ててみましょう！

②自分で車いすを動かしてみよう。助けもなく移動できるかな？

③車いすでキャンパスを回ってキーワードを完成させよう！
宝探しや3mチャレンジもあるよ！

④ブラインドカフェ(目隠しで味がわかるかな？)
“気配切り”にもチャレンジしよう！

②京都文教大学との連携事業の報告

◆成果「ともいきフェスティバル」出店(R5.12.10)

受付の様子



学内で体験



目隠しで物あて



車いすラリー 20

③令和4年度以降に実施した事業

③令和4年度以降に実施した事業(木幡駅周辺地区)

◆府道木幡停車場線点字ブロック敷設(山城北土木事務所)

【施工前】



【施工後】



【立会の様子】



③令和4年度以降に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
詳細設計					
工 事					

◎内容

- ・エレベーター設置
 - ・内方線付き点状ブロック整備
 - ・券売機蹴り込みの整備
 - ・バリアフリーストイレ新設
- 等

③令和4年度以降に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))

【工事ヤードの設置】



【交通島の支障工事】



③令和4年度以降に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))



※イメージ図のため、今後変更になる可能性があります。

④心のバリアフリーの実施状況

④心のバリアフリーの実施状況

◆榎島中学校でのBF体験学習

目的：人権学習の一環として生活の中にあるバリアについて理解し、バリアフリーな社会の構築に向き合い、新たな問題に気づき、課題解決に取り組む

対象：宇治市立榎島中学校1年生(76名)

内容：①車いす体験、②ブラインド体験、③BF化施設の探索



(3)その他

(3) その他

◆各鉄道事業者のソフト施策の取り組み

◎西日本旅客鉄道(株)

- ①各駅社員を対象にBFマニュアルに基づいた教育を実施
- ②サービス介助士の資格取得を奨励(各駅で半数以上が資格保有者)
- ③駅や車内でのポスター掲出や案内放送等による啓発の実施
- ④各駅のBF設備や介助の申し込み先を記載したバリアフリーガイドの作成

(3) その他

◆各鉄道事業者のソフト施策の取り組み

◎近畿日本鉄道(株)

- ①運行情報のお知らせをディスプレイを使用し文字情報等で提供
- ②スマホでのビデオ通話が可能となるQRコードを各駅に設置
- ③ホームページ上で各駅のBF情報を公開
- ④社内や外部団体の障がい者対応研修資料を活用した、接遇技能取得向上に向けた訓練・研究会の実施

(3) その他

◆各鉄道事業者のソフト施策の取り組み

◎京阪電気鉄道(株)

- ①ユニバーサルマナー検定の取得(R5年度は駅係員の約7割が取得予定、R6年度は全係員の取得を目指す)
- ②スマホでのビデオ通話等が可能となる「スマホでインターホン」の実装
- ③介助が必要な駅利用者に対し、個別に連絡カードを配布